

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	教授 信濃 吉彦
---------	--------------	-------	----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

小職は、経営学部教員として、本学部の学生に対し学位記を受けるに相応しい知識・技能・および経験と社会における人間力の礎を修得させるべく指導すること、すなわち本学の諸ポリシーを体現した人間作りの一端を担うものとして、日々指導と教育を行うことを責務と考えております。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
卒業論文	経営学科	必修	4	17
専門演習ⅠA	経営学科	必修	3	18
専門演習ⅠB	経営学科	必修	3	18
専門演習ⅡA	経営学科	必修	4	17
専門演習ⅡB	経営学科	必修	4	17
経営管理論	経営学科	必修	3	108
経営学総論	経営学科	必修	1	116
経営組織論	経営学科	必修	1	114
スポーツマネジメント論	経営学科	教職必修・一般自由	1	62
基礎英語Ⅰ	経営学科	必修	1	38
基礎英語Ⅱ	経営学科	必修	1	36
人的資源管理論	経営学科	自由	3	81
スタートアップ演習	経営学科	必修	1	107
外国語コミュニケーション	社会福祉学科	必修・自由	3	22

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	私の教育理念は以下の通りです。 実社会で肯定的にとらえられている内容（グローバリズムに関する考え方やSDG'sの捉え方）が果たして正しいのだろうか。国連中心主義に対する疑問など若者目線で真剣に考えてもらいたい。加えて、経営学分野において日々直面する社会での実相に対して速やかに対応していけるだけの知識や経験、胆力等を授業のみならずあらゆる機会を利用して学生に修得してもらいたいと考えております。さらに、コミュニケーション力の低下に鑑み、対話教育に重心を置き、共に考えることを大切にしております。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授 業	1, 2年生対象の授業は、経営に関する基礎知識や専門チームの理解等が必要なためどうしても座学中心の講義となってしまいます。しかしながら、ここを疎かにしてしまうと3, 4年での分析家の授業や卒論等に支障をきたすこととなるので、出来るだけ広範な内容を伝統的なものから最新のものまで網羅すべく設定しております。
アクティブラーニングについての取組	調査系の課題を多く採用し、机上のみで完結しないよう気を付けております。と言っても、近年ではICTの発達に伴い机上で完結することも多くなったので、講義内での発表の機会を増やすことで対応しております。
ICTの教育への活用	各授業では、Microsoft Teams に授業資料を投稿し、事前事後学習で活用できるようにしています。加えて、意見の交換や質疑応答にも対応しています。また、Youtube やその他 視聴覚教材も利用し、解説を行っています。個別指導や補講に関して要望があった場合、teams のオンライン指導も行う場合があります。
その他の創意工夫	授業に関する学生からの要望は、口頭及びチームズないのチャット機能等で対応しています。また、昨今の学生は既習内容のデータベース化において著しく差を生じます。従って、小職の授業においては必ずノートチェックを実施し科目における日々の学習を確認するようにし、事前事後学習の効率的習慣化を狙っております。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	学生による授業評価において概ね好評化を得ております。必ずノートチェックに関するコメントがあり、良きにつけ悪しきにつけ学生の刺激になっていることは間違いがなく、今後も継続していく所存です。
学生の学修成果	学生による授業評価において概ね好評化を得ております。理解度に関して一定の評価は得られているものと信じております。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

座学系の講義に関しては、現状に微調整を加えながら継続していくものと心得ております。しかしながら、本学においては学外での実習系の授業が圧倒的に不足していることから、今後はこの方面での対応も考えていかなければと推察いたします。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	教授 河野善文
---------	--------------	-------	---------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

担当している授業科目は、おもに1・2年次配当の経済学の基礎科目や入門レベルの統計学である。そこでおこなっている教育責任は、その後の経済学の応用科目や経営学の専門科目を学ぶための基礎経済学の知識を身につけることであり、さらには、経済学の考え方を応用した思考力を身につけることであると考えている。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
経済学概論	経営学科	必修	1	
ミクロ経済学	経営学科	選択	2	72
マクロ経済学	経営学科	選択	2	
基礎統計演習	経営学科	選択	2	
スタートアップ演習	経営学科	必修	1	107
キャリアデザインII	全学科	選択	1	
経済学入門 (経済学概論)	社会福祉学科	選択	2	
専門演習I	経営学科	必修	3	13
専門演習II	経営学科	必修	4	10

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。
個人の教育理念・目標	社会に必要とされることについて、経営感覚をもって創造的に思考できる人材を育成し、社会におくりだすことを理念・目標としている。 経営感覚をもった人材を育成するためには、経営学をささえる基礎経済学の概念や統計学の手法の理解が不可欠である。また、専門的な理論や技術を学ぶだけでなく、日常生活や仕事のなかで経済学の思考方法を応用する力を身につけることが重要と考えている。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	自分なりに社会の必要を見出し、課題に創造的に取り組めるようになるために授業では、経済学の用語や理論について学ぶことにくわえて、経済学的思考方法を身につけることをめざしている。 とくに、経済に関するニュースや内閣府が発表する資料等を授業のなかで取り上げることで、経済社会を知るのに必要な経済用語や概念について知るだけでなく、いま実際に経済でおきている出来事や実例から経済学を学べるように心がけている。 また、授業で学んだ経済学の考え方を経済社会や身近な日常生活の事例に適用する演習問題に取りくむようにしている。これにより、社会のニーズや課題に経済学的視点から取り組めるようになることをめざしている。
アクティブラーニングについての取組	「主体的・対話的で深い学び」をめざして授業では、身近な事例を考えて説明する・自分なりにデータを解釈する等、学生が自ら考えて解答する必要がある演習を取り入れている。また、学生どうしで演習の解答を比較・検討する機会をつくるようにしている。
ICTの教育への活用	アンケート・課題作成ツールやコミュニケーションツールのチャット機能を活用して、学生と教員との間での情報共有や指導、課題の提示・回収等に利用している。
その他の創意工夫	学生の理解度や学習状況をはあくするために、課題の提出やノートの確認の機会を授業のなかでもうけるようにしている。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	「ミクロ経済学」の授業アンケートにおいて、「自分が普段何気なくしている意思決定について経済学的に考えることができ、非常に興味深い内容であった」というコメントがあった。数字を見ても、多数の学生が授業の内容に興味・関心を持ってくれた。
学生の学修成果	授業中の演習や試験のなかで経済学の考えを応用する問題を課したが、少なからずの学生が自分なりの考えを解答として記述できていた。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

授業アンケートをみると、授業内容に興味をもてなかった学生が一部いた。できるだけ多くの学生が授業内容に興味をもてるように、取り上げる事例等くふうしたい。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketokako/>

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	教授 由水伸
---------	--------------	-------	--------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私の専門分野は情報科学で、情報リテラシー科目を担当しています。情報システム、プログラミング、情報ネットワーク、データベースとマルチメディア表現等の科目のほか、ゼミとして専門演習、卒業論文も担当しています。

情報リテラシー科目においては幅広い知識とその関連性を見出すこと、専門科目においては技術を理解し応用力をつけることを重視し、新しい時代を担う人材育成を行うことが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
情報基礎演習Ⅰ	経営学科	必修	1	120
情報基礎演習Ⅱ	経営学科	必修	2	120
マルチメディア表現	経営学科	選択	1	40
プログラミング論	経営学科	選択	3	40
データベース論	経営学科	選択	3	40
情報ネットワーク論	経営学科	選択	2・3	40
専門演習ⅠA	経営学科	必修	3	15
専門演習ⅠB	経営学科	必修	3	15
専門演習ⅡA	経営学科	必修	4	15
専門演習ⅡB	経営学科	必修	4	15
卒業論文	経営学科	必修	4	15

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。
個人の教育理念・目標	教育理念は、「正確な知識と理論に基づく効率性を持つ実践力の涵養」と、「美しい解決アルゴリズムの追求」です。情報科学の領域において、問題解決の能力の育成は重要だと確信しています。 情報基礎演習においては、日々進化する情報技術分野の基礎となる知識や技術の理解の深化を目指しています。これを通じて、学生たちが持続的に新しい知識や技術を学ぶ素養を身に着けることが期待されています。

	<p>情報系の専門科目に関しては、コンピュータのハードウェアとソフトウェアの両面からの理解を深め、プログラミングやネットワーキングなどの基本技術を習得することを重視しています。特に、Society5.0 という時代背景の中で、AI やIoT に関する知識とその実践力は極めて重要です。ゼミの段階では、学生に実社会で働く意義を認識させ、持続可能な社会を築くための基本的な人間性や要件を身につけることを強調しています。</p>
--	---

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>講義では、インタラクティブな学びの環境の提供と基礎の徹底的な習得に重点を置いてます。講義は対話とともに進行し、学生の積極的な参加を奨励します。議論や実習を通じて学生が理解を深められるような環境を整え、オフィスアワーを通じて質問や相談の時間も確保しています。</p> <p>教育の基盤として、基礎の徹底的な習得は次のステップへ進むための不可欠な要件と捉えています。これに加え、問題の解決方法を最適化することの重要性を学ぶ段階で創意工夫を奨励しています。基礎を十分に習得しないまま結論を急ぐ行為は失敗に繋がると考えており、まずは教員が模範として「やってみせる」ことで、学生に一般的な解法を示しています。基礎を習得した後の段階では、能動的な活動を中心として授業を進めます。具体的には、「自分で考える」「自分で調べる」「自分で答えを探る」「仲間と協力する」という手法を駆使し、学生に深い理解と実践力を養成させています。</p> <p>現代社会では、自らの思考や解法を他者に「自分で表現する」能力が求められます。授業では、データ解析結果や問題解決方法を視覚的表現や言語表現を用いて他者に伝えるスキルの育成に努めています。また、他者との意見交換や相互の教え合いを通じて、コミュニケーションの質を高めることを強調しています。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>講義をインタラクティブに進行させることで、学生が自ら主体となり学びのプロセスに参加する環境を提供し、議論や実習を通じて、学生自身の手で知識や技能の理解を深める機会を重視しています。この手法は、学生が「自分で考える」「自分で調べる」「自分で答えを模索する」といった能動的な学びのスタンスを身につけることを奨励するものです。さらに、学生同士の協力を促進するための「仲間と協力する」というアクティビティでは、相互の意見交換や教え合いを通じて、深い理解と共同作業のスキルを養成することに焦点を当てています。</p>
ICT の教育への活用	<p>授業に参加する学生は全員 Teams に登録され、コロナ感染対策のような非常時における遠隔授業に対応しています。また、講義で Teams を通じて課題の配布と提出を行うこととし、評価についてもフィードバックしています。また、テキスト教材、授業のプレゼンテーションスライド、授業の理解を図る小テスト、最終試験直前の振り返りテストなどを Teams ならびに Forms を利用して実施しています。</p>
その他の創意工夫	<p>講義では、長々と話すのではなく、適切なタイミングで企業の実際の状況を社会経験を基に紹介しています。この話の後は、学生たちと自由に会話する時間をもちます。また、実技や演習を中心とする科目では、学生同士の議論や疑問に対して、随時、相談に応じています。</p> <p>なお、授業終了前の振り返りテストの結果を基に、次回の授業内容を調整しており、必要に応じて復習の時間も取り入れています。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	授業アンケートの総合評価で、「満足」「充分満足」「とても満足」と評価した学生は全体の86～97%を占めています。一方、学生の自由記述では「とてもわかりやすい」という肯定的な意見が見られるものの、「難しい」と感じる学生も一部存在します。このような意見の分かれる評価は、科目の専門性を考慮すれば、自然なものだと捉えています。（情報システム論、データベース論、情報基礎演習Ⅰ・Ⅱ、2023年より）
学生の学修成果	試験結果やレポートを分析すると、学生たちは知識の修得には成功しているように見えます。しかし、知識の関連性や深い思考力が求められる文章問題に対するパフォーマンスは不十分です。多くの学生が単なる「暗記」に依存しており、「本質」を捉える能力が不足しているように感じられます。この点は教員側、学生側双方で取り組む課題だと考えます。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

生成AIの利用が増加している現状において、提示される結果の正確性を確認するには、充実した自身の知識が不可欠です。このため、まず基礎知識をしっかりと学び、それを基に自らの思考を大切にする必要があります。今後も、授業にAIやICTを効果的に活用すると同時に、教養分野を含めた基礎知識と、専門的知識・技能を兼ね備えた人材の育成が重要だと考えています。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

授業資料（例） ※大量につき「情報システム論」を例とします

- ・情報システム論 授業スライド（PPTスライドをPDF化したもの）
 - Chap01-2022.pdf 第1章 PCの概要
 - Chap02-2022.pdf 第2章 データーの保存
 - Chap03-2022.pdf 第3章 メモリー
 - Chap04-2022.pdf 第4章 CPU
 - Chap05-2022.pdf 第5章 プリンター
 - Chap06-2022.pdf 第6章 ディスプレイとコネクタ
 - Chap07-2022.pdf 第7章 入出力デバイス
 - Chap08a-2022.pdf 第8章 a オペレーティングシステム Windows
 - Chap08b-2022.pdf 第8章 b OSのGUIと外観について
 - Chap09-2022.pdf 第9章 ネットワーク入門
 - Chap10-2022.pdf 第10章 Webブラウザ
 - Chap11a-2022.pdf 第11章 セキュリティ(前編)
 - Chap11b-2022.pdf 第11章 セキュリティ(後編)
 - Chap12-2022.pdf 第12章 コンピューターのメンテナンス
- ※著作権とコンテンツ保護のためリストのみの公開とし、内容は非公開
(著作権の教育における特例は授業以外の利用目的には適用されません)

- ・情報システム論（2022年度）の各章の小テスト実施結果

情報システム論 2022年小テスト Forms 集計.xlsx

※個人を特定する要素は削除しています

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	特任教授 岡島徳昭
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

小職は、昭和 54 年より一環して英語教育に携わってきた。「実社会で使える英語の修得」を教育目標に掲げ、学生の英語運用能力の向上に努めている。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎英語 I	経・福・デ・建	必修	1	57
基礎英語 II	経・福・デ・建	必修	1	57
外国語コミュニケーション	経営学科	選択	3	11
国際経営論	経営学科	選択	4	52
専門演習 I A	経営学科	必修	3	6
専門演習 I B	経営学科	必修	3	6
専門演習 II A	経営学科	必修	4	10
専門演習 II B	経営学科	必修	4	10
卒業論文	経営学科	必修	4	10

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	英語が今日、国際語となって広くまた頻繁に用いられる現状を鑑みる時、必要最小限の英語力を身につけることは学生の将来にとって重要なことである。高校までに学んだ英語を総合的に復習し、基礎知識をしっかりと身につけさせ、そのうえで平易な英文の多読を通し語彙力、文法力をさらに強化し、英語の運用能力の向上を目標に掲げている。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	学生がこれまで学んできた文法、構文、語彙、イディオムを活用し日常の様々な事柄を英語で読み書き表現できるように努めている。
アクティブラーニングについての取組	授業ではテーマごとに範例を提示し、自己学習の参考となるように配慮した。又グループワークを取り入れ、発表の場を多く取り入れている。
ICT の教育への活用	授業では、Microsoft Teams を事前事後学習に利用できるようにし、質疑応答に対応している。

その他の 創意工夫	実践的英語力強化のために、英字新聞などから適切な題材を選び、英文に慣れ、英語の運用能力を増すことができるよう配慮している。
--------------	---

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善 アンケート の結果	授業の満足度は、5段階評価で4.5以上の評価を得ています。
学生の 学修成果	授業の理解度に関して、いずれの科目も「とてもよく理解できた」「充分理解できた」「理解できた」を合わせた選択率は95%でした。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

授業改善アンケートの結果をふまえ、学生の興味関心のある内容を授業に反映させていく。今後も継続して学生の英語運用能力向上に努めていく。
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	教授・青山 浩之
---------	--------------	-------	----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

公法学と民事法学の法学分野において、商法・会社法、民法・ビジネス法務、法学入門、日本国憲法の授業を担当しています。そのほか共通教育科目として、スタートアップ演習、キャリアデザインⅡ、専門演習ⅠA・専門演習ⅠB、専門演習ⅡA・専門演習ⅡBの授業を担当しています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
商法	経営学科	選択	2	117
会社法	経営学科	選択	2	
民法	経営学科	選択	3	
ビジネス法務	経営学科	選択	3	
法学入門	全学科	選択	1	70
日本国憲法	経営学科	選択	3	103
スタートアップ演習	経営学科	必修	1	108
キャリアデザインⅡ	全学科	選択	1	
専門演習ⅠA	経営学科	必修	3	15
専門演習ⅠB	経営学科	必修	3	
専門演習ⅡA	経営学科	必修	4	13
専門演習ⅡB	経営学科	必修	4	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	国際化、産業構造の変化、少子高齢化、そして価値観の多様化が急速に進み、先行きの予測が困難な複雑で変化の激しい現代社会において、共生社会の実現に資する幅広い豊かな教養と経営学科の素養に裏づけられた柔軟な思考、総合的で的確な判断とそれにもとづく迅速な行動ができる論理的な分析力に裏づけられた実務処理能力のある人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>幅広い豊かな教養と経営学科の素養に裏づけられた専門性に基づく、思考・判断能力・分析力を身につけた人材育成するために、一つの要素として法律の基本となる知識を修得することを目的とする。</p> <p>授業では、法律の基本となる知識を修得することを目的とし、条文を理解し、適用・解釈できるようになることを目標とし、さらに法的な問題が生じたとき、迅速かつ的確に対応できる人材の育成することを目的とする。「法律の条文を読み取り、理解できた」「事例を理解し、法律の条文を適用できた」「課題に対し、問題解決ができた」を評価基準として、知識を修得することを目指す。</p> <p>「法律の条文を読み取り、理解できた」では、法律の条文を読み取り、理解でき、さらに自分の意見を述べることを目指す。</p> <p>「事例を理解し、法律の条文を適用できた」では、事例を理解し、法律の条文を適用し、さらに自分の意見を述べることを目指す。</p> <p>「課題に対し、問題解決ができた」では、課題に対する解答が的確で、過不足なく網羅して答えていることを目指す。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>授業は、資料をパワーポイントで投影し、資料（第3回から第14回の計12回）を配布して実施する（調査学習【準備・事後】含む）。授業の進行は、前回の復習から始まり、本日の講義の内容を講義形式で解説を行う。</p> <p>①確認テスト・小テストは、講義の理解を深めるために実施する。②ビデオ視聴は、課題解決力を養うために（受講人数・使用教室などによっては実施しない）実施する。③課題は、講義の理解を深めるために実施する。①②③についてのフィードバックは、講義内で解説を行う。確認テスト・小テストはMicrosoft Formsで実施（配信）のほか、学生全体の理解度を把握し指導する。課題は、原稿用紙配布で実施し、理解度を把握し指導する。</p>
ICTの教育への活用	<p>授業は、資料（パワーポイントで作成したスライド【1回あたり32頁以上】及びパワーポイントのスライドをA3サイズ【両面印刷1頁16スライド×2】の資料を配布し実施）をパワーポイントで投影し、資料（第3回から第14回の計12回）を配布する。シラバスにテーマ提示による準備学習・配布プリントによる事後学習をインターネットで調べ学習をする。確認テスト・小テストは、Microsoft Formsで実施（配信）のほか、学生全体の理解度を把握し、フィードバックは、講義内で回答の仕方を解説、正答率など分析をフィードバックする。</p>
その他の創意工夫	<p>確認テスト・小テストは、Microsoft Formsで実施（配信）のほか、学生全体の理解度を把握し、フィードバックにより、講義内で回答の仕方を解説（資料配布）、正答率など分析を公表し、理解度を高める工夫を行う。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>魅力ある授業づくりの一環として、わかりやすい授業を目指し、アクティブラーニングを取り入れ（確認テスト・課題）、満足度や理解度を高める（復習徹底）。授業改善アンケートの活用と研究授業など実施し、授業力をつける。さらに法律改正に対応し、常に講義の更新（内容・見やすい資料）を行い完成度を高める。授業改善アンケートの活用においては、授業スキルの評価・授業の全体印象に関する評価と分析を行い改善に取り入れ、「自由記述」では指摘の受けたことは、積極的に改善を行い、特に興味や関心を持てるように工夫することを心掛けている。</p>
--------------	--

学生の学修成果	授業改善アンケートにおいては、授業スキルの評価では、特に設問1「シラバス」設問4「板書等」設問5「資料・教科書」では好評価を受けた。授業の全体印象に関する評価では、設問9「熱意をもって授業に取り組んだ」設問10「全体満足」は好評価を受けました。授業改善アンケートの分析と本試験の得点・評価の割合を学生の学習成果の一部と捉え、学生の成長することをサポートする。
---------	---

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、法律の基本となる知識を修得し、条文を理解し、適用・解釈できるようになることを目標とし、さらに法的な問題が生じたとき、迅速かつ的確に対応できる人材の育成することを目的とする。授業改善アンケートを把握し、結果を活用しわかりやすい授業を目指し魅力ある授業づくりに取り組む。</p> <p>長期目標としては、幅広い豊かな教養と経営学科の素養に裏づけられた専門性に基づく、思考・判断能力・分析力を身につけた人材育成するために、一つの要素として法律の基本となる知識を修得することを目的とする。授業改善アンケートを把握し、結果を活用し魅力ある授業づくりに取り込み、「読解力」「考察力」「問題解決力」の修得を目指す。</p>
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

確認テスト・小テスト（Microsoft Forms で作成・配信）、課題（原稿用紙配布）

商法 R05(2023)経営学科／青山浩之 TPE01.pdf（431 スライド）、スタートアップ演習 R05(2023)経営学科／青山浩之 TPE02.pdf（121 スライド）、法学入門 R05(2023)経営学科／青山浩之 TPE03.pdf（384 スライド）、日本国憲法 R05(2023)経営学科／青山浩之 TPE04.pdf（384 スライド）

補助教材（配布資料）：パワーポイントのスライドを A3 サイズ【両面印刷 1 頁 16 スライド×2】

商法 R05(2023)経営学科／青山浩之 TPE01.pdf（431 スライド）、スタートアップ演習 R05(2023)経営学科／青山浩之 TPE02.pdf（121 スライド）、法学入門 R05(2023)経営学科／青山浩之 TPE03.pdf（384 スライド）、日本国憲法 R05(2023)経営学科／青山浩之 TPE04.pdf（384 スライド）

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	教授 遠藤均
---------	--------------	-------	--------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、哲学や倫理学、道德教育、キャリア支援、専門ゼミ等の授業を担当しています。AI の進化に伴う大変動の時代にあって、以下が、私の教育の責任であると考えています。

- A. 精神的に自他を支える価値観の構築および新たな道を切り開き、それを成し遂げるための人材育成
- B. これからの時代に必要とされる創造的思考やコミュニケーション力、人間力等の育成
- C. 上記に準拠した教育者の育成
- D. 就職活動の支援

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
人間と哲学	全学科	選択	2	94
ビジネス倫理	経営学科	選択	2	43
倫理学概論	社会福祉学科	選択	3	
道德教育の指導法	全学科	選択	3	
キャリア支援演習 I	経営学科	必修	1	107
専門演習 I	経営学科	必修	3	15
専門演習 II	経営学科	必修	4	5

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	国際化、産業構造の変化、少子高齢化、そして価値観の多様化が急速に進み、先行きの予測が困難な複雑で変化の激しい現代社会において、共生社会の実現に資する幅広い豊かな教養と経営学科の素養に裏づけられた柔軟な思考、総合的で的確な判断とそれにもとづく迅速な行動ができる論理的な分析力に裏づけられた実務処理能力のある人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	<p>授業において、以下の方法を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> A. 精神的に自他を支える価値観の構築、および新たな道を切り開き、それを成し遂げるための人材育成のため、オリジナルテキストを作成し、毎年、よりよいものに改訂しつづけています。 B. これからの時代に必要とされる創造的思考やコミュニケーション力、人間力等の育成のために、次のものを取り入れています。
----	---

	<p>①構成的グループエンカウンター ②ディバート ③学生同士の話し合い ④学生に多くの問いかけを行い、自分の意見を述べてもらう。発言に対しては、随時、平常点を加味。 ⑤最終評価のレポート作成においては、みずから考え、自分というフィルターを通し、自分にしか書けない内容を書くよう要請しています。 ⑥反転学習&反転授業 ⑦探究型学習 ⑧PBL</p> <p>C. 上記に準拠した教育者育成においては、AIの進化に伴う大変動の時代における生徒指導を念頭に置いて、授業を進めています。 D. とりわけキャリア支援演習Ⅰや専門ゼミⅠⅡにおいて、就職活動の支援を行い、学生の希望職種の選定のお手伝いや就職試験に合格するための考え方や具体的方法を教授。また、社会に必要とされる人材の養成も行っています。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>教育の方法に記したように、構成的グループエンカウンターやディバート、学生同士の話し合い、学生に多くの問いかけを行い、学生自身の意見を積極的に述べてもらっています。また、専門ゼミⅠⅡにおいては、反転学習&反転授業や探究型学習、PBLも取り入れています。</p>
ICTの教育への活用	<p>Microsoft Teamsを用い、オンライン授業はもとより、学生との連絡を頻繁にとり、レポートや生活指導、カウンセリング、就職支援などを積極的に行っています。</p>
その他の創意工夫	<p>授業を円滑に行い、活性化するために、次のことを実施しています。</p> <p>A. 最初の授業を始める前に、ネームプレートを作成してもらい、毎回、机の上に置いてもらっています。これにより、学生の名前を覚え、学生の名前を呼び、よりよいコミュニケーションのための地盤を築いています。</p> <p>B. 遅刻を防止するために、授業開始と同時に、平常点となる「早出シール」を配布し、ネームプレートの裏に張ってもらっています。</p> <p>C. 授業中、スマホといった電子機器を机の上に置くことを禁止しています。そのため、授業中、できるだけ机間巡視をするよう心がけています。机の上に置いている場合は、授業終了時まで預かることになります。</p> <p>D. 授業に関係のない私語をしている学生に対しては、叱ることをせず、前の席に移動してもらっています。けっか、周りに話し相手がないため、おのずと話さなくなります。</p> <p>E. 適切な発言に対しては、金色の平常点シール(1点相当)を授与し、ネームプレートの表に張ってもらっています。この数が、ある一定数に達したならば、最終レポートは免除となります。この対象者となった学生は、過去に5人ほどいます。</p> <p>F. 卒業論文制作にあたっては、論文の要件である独創性を極めて重視し、真剣な話し合いを通して、オリジナリティを高めています。また、プレゼンテーション力を身に付け、モチベーションを高めてもらうために、完成後、ゼミ生の前で発表してもらっています。</p> <p>G. 楽しくかつ聴きやすく受講できるよう、話術や発声法、活舌などを磨きつづけています。</p> <p>そのために、地元FMラジオ(FMメイプル)でパーソナリティを9年以上担当し続けています。過去には、道新のラジオ講座を1年間、発声法の講座を2年間、NHKや朝日カルチャーの朗読講座等を2年間受講しました。</p>

4. 教育の成果 (その方法を行った結果、どうだったか?)

授業改善アンケートの結果	<p>「人間と哲学」の「満足できた」の計は、100% 「ビジネス倫理」の「満足できた」の計は、92% 「キャリア支援演習Ⅰ」の「満足できた」の計は、95%</p>
--------------	---

学生の学修成果	<p>上述の満足度に加え、学生の感想には、以下のようなものがあり、一定の成果を得たのではないかと判断しています。</p> <p>「人間と哲学」の感想……「自分の生き方を振り返り成功に向けて歩んできたかを反省する機会となり充実した時間を過ごせました」</p> <p>「ビジネス倫理」の感想……「聞きやすかった」</p> <p>「キャリア支援演習Ⅰ」の感想……「楽しい授業でした」、「最高です」</p>
---------	---

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

オリジナルのテキストを引き続きよりよいものにしていく所存です。また、反転学習&反転授業や、探究型学習、PBLの比重を高めていきたいと考えています。さらに、卒論発表の場をゼミ内にとどまらず、それぞれのゼミから代表者を一人選出し、学部単位でコンペティションができるよう働きかけていきたいと考えています。これが実現できれば、学生モチベーションが大いに高まり、卒論の大幅な質の向上が見込めるからです。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

[https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/slbssbdu.do?value\(rikyunen\)=2023&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=1103100](https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/slbssbdu.do?value(rikyunen)=2023&value(semekikn)=1&value(kougicd)=1103100)

[https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/slbssbdu.do?value\(rikyunen\)=2023&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=7809000](https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/slbssbdu.do?value(rikyunen)=2023&value(semekikn)=1&value(kougicd)=7809000)

[https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/slbssbdu.do?value\(rikyunen\)=2023&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=6209101](https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/slbssbdu.do?value(rikyunen)=2023&value(semekikn)=1&value(kougicd)=6209101)

[https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/slbssbdu.do?value\(rikyunen\)=2023&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=7810000](https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/slbssbdu.do?value(rikyunen)=2023&value(semekikn)=1&value(kougicd)=7810000)

[https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/slbssbdu.do?value\(rikyunen\)=2023&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=9117100](https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/slbssbdu.do?value(rikyunen)=2023&value(semekikn)=1&value(kougicd)=9117100)

授業改善アンケート

<https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/sprtenqr.do>

<https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/sprtenqr.do>

<https://campus.seisadohto.ac.jp/campusweb/sprtenqr.do>

レポート課題（「人間と哲学」、「ビジネス倫理」）

レポートの採点基準は、「どれだけ講義の内容を理解し、自分のものになっているか」ということ。自分自身との対話を通し、自分のことばで語ることが重要。講義で扱っていない内容や自分の考えばかりを書いても合格点に達することはできない。コピペは100%単位認定されない。最後に、全体的感想や自分の意見をつけ加えるとよりよい。レポートは、原稿用紙換算5枚以上（2千字以上）。文字数を明記する。書式は問わない。

試験問題（「キャリア支援演習Ⅰ」）

ビジネス能力検定3級を受験した

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	教授 鈴木重政
---------	--------------	-------	---------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、経営学の基幹であるマーケティング論、経営戦略論、原価計算論、管理会計論、そして教職(保健体育教員免許)必修科目としてのスポーツビジネス論を担当しています。自然環境や世界情勢が厳しくなる時代を迎え、経営学科の専門科目を通じて学生の人間力を高めることが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
原価計算論	経営学科・全専攻	選択	2	34
管理会計論	経営学科・全専攻	選択	3	
マーケティング論	経営学科・全専攻	必修	2	119
経営戦略論	経営学科・スポーツマネジメント専攻を除く全専攻	必修	2	
経営戦略論	経営学科・スポーツマネジメント専攻	選択	2	
スポーツビジネス論	経営学科・スポーツマネジメント専攻	必修	3	8
スポーツビジネス論	経営学科・スポーツマネジメント専攻を除く全専攻	選択	3	26
専門演習 I AB	経営学科・全専攻	必修	3	5
専門演習 II AB	経営学科・全専攻	必修	4	10
卒業論文	経営学科・全専攻	必修	4	10

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	国際化、産業構造の変化、少子高齢化、そして価値観の多様化が急速に進み、先行きの予測が困難な複雑で変化の激しい現代社会において、共生社会の実現に資する幅広い豊かな教養と経営学科の素養に裏づけられた柔軟な思考、総合的で的確な判断とそれにもとづく迅速な行動ができる論理的な分析力に裏づけられた実務処理能力のある人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	授業の中では、「基礎学力」「分析力」「総合力」を養い、社会から歓迎される学生を輩出することを目指しています。
----	--

	<p>「基礎学力」 高校の内申点の高さに比べて基礎学力が不足している学生が増加しています。また、年少からスポーツに打ち込み学習の経験がなく悩んでいる日本人学生、あるいは日本語能力が不十分な外国人留学生などが散見されます。そのために授業のところどころに基礎学力を育む内容を取り入れています。</p> <p>「分析力」 企業の経営分析を数多く行うことで、分析力をつけ、さらに高めるような授業を行っています。</p> <p>「総合力」 企業の経営分析から抽出された課題をいかに解決するかという総合力を育むために、「経営者の視点」と「イノベーションの視点」に重みを置く授業を行っています。</p>
アクティブラーニングについての取組	担当する講義科目はアクティブラーニングにそぐわないため取り組んでいません。 専門演習 I AB・II AB では積極的にフィールドワークを行い、学生が SNS 等で成果を発信する取り組みを行っています。
ICT の教育への活用	学習管理システムを通じた授業資料の配布により、学生が授業時間外も自学自習できるようにしています。
その他の創意工夫	毎回、演習課題などを提出してもらって理解度を測っています。授業時間外ではメールで質問に対応しています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	各担当科目のいずれの項目でも 4.0 以上と一定評価を有しておりますが、学生の自由記述からは満足度の高いコメントが多数ある一方で、思い当たるふしのない批判（「授業が難しすぎる」など）も寄せられ苦慮しているところです。
学生の学修成果	学生が作成したレポートや卒業論文の質の向上が見られ、学修の成長が実感できます。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、学生が興味を持てる題材を把握し、マーケティングや戦略的会計およびスポーツビジネスを学ぶ際の課題に反映させていきます。</p> <p>長期目標としては、事業計画・政策提案を学ぶための ICT 教材作りを行っています。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	特任教授 河田一郎
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、ヨーロッパ文学関連の教養教育として、ドイツ語やゼミの授業を担当しています。学生が留学等でコミュニケーションに困らないよう、基本的な言語能力を高めることが私の教育の責任であると考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
スタートアップ演習	経営学科	必修	1	101
ドイツ語入門Ⅰ・Ⅱ (M)	経営学科	選択	3	97
ドイツ語入門Ⅰ・Ⅱ (SDA)	社福・デザイン・建築	選択	3	78
基礎ゼミナールⅠA・B	全学科	必修	1	15
基礎ゼミナールⅠA・B(再履)	全学科	必修	2	0
基礎ゼミナールⅡA・B(再履)	全学科	必修	3	2

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】

個人の教育理念・目標	語学は難しいものと考えている学生も少なくないと思います。大学でドイツ語に初めて触れる学生に、丁寧に、ゆっくりとわかるまで何度でも指導をすることが私の教育理念です。私の授業でドイツ語に興味を持ち、多くの学生がドイツ語検定試験にチャレンジしてもらえるように指導を続けていきたいと思っています。
------------	--

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>授業では「ドイツ語で自己紹介ができる」、「数字が言えて、聞き取ることができる」、「いろいろなシチュエーションでコミュニケーションが取れる」ように指導しています。達成目標は毎回授業の初めに確認していますので、実際に達成していく過程を実感することができます。</p> <p>「ドイツ語で自己紹介ができる」毎回、1フレーズを覚えてもらうことにしています。1Qの初回の授業で、現在英語で自己紹介ができる以上になると伝えていきます。1Q終了後、無理だと思っていたことが実際に達成できていることに驚く学生が多くいることに、やりがいを感じています。</p> <p>「数字が言えて、聞き取ることができる」ドイツ語の数字の言い方は独特で、例えば22は2と20という言い方をします。数字に慣れてもらうために、ドイツ語でビンゴをしたりしています。また実際の生活では、支払いのときにいくら渡せばよいのかというヒアリングのコツなどを伝授しています。</p> <p>「いろいろなシチュエーションでコミュニケーションが取れる」文法の進度に合わせて、実生活に必要な会話も授業ごとに1フレーズずつ覚えてもらうようにしています。第1Qで16フレーズ、さらに第4Qで16フレーズを使いこなせるように指導をしています。</p>
アクティブラーニングについての取組	カフェでの注文の仕方、チップの渡し方など具体的なシチュエーションを設定して、学生同士でコミュニケーションをとる練習を多く行っています。
ICTの教育への活用	Formsを用いて、出欠の管理を行っています。その際に各授業の理解度を確認するための問題をクイズ形式で出題しています。
その他の創意工夫	学生の集中力が切れるころに、クラシック音楽を聞く時間を数分設けています。一般教養として、その曲の作曲者、曲に関するエピソード、歴史的な背景を解説しています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	各担当科目の自由記述から授業への満足度をうかがうことができます。各Qの達成目標が確実に身につけているとのコメントを受けています。
学生の学修成果	各Q終了後、ドイツ語技能検定受験を目指して、学修を継続したいという学生の声からも一定以上の成果はあったと感じています。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

短期目標としては、ドイツに関連するもので興味のあるものを各学生から聞き、それらを反映して授業を行っています。長期目標としては、これまで作成した教科書をさらにわかりやすい教材に改良していくつもりです。

6. 添付資料（根拠資料）シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/> 授業改善アンケート

ト

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketotoko/>

作成した教科書

R05（2023）経営学科/河田一郎 TP01 『Deutsch macht Spaß!』

R05（2023）経営学科/河田一郎 TP02 『ドイツ語ルネサンス』

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	特任教授 高井雅一
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、本学の教職課程において中学校・高等学校の保健体育教諭免許状取得のための教科指導法に関する科目を担当しています。保健体育科の授業を行うための知識や指導技術について学修し、実践的な指導力を身につけるような授業を心掛けています。また、生徒指導や進路指導などの学校校務を理解し、教育現場に対応できる最低限のスキルを身につけさせる責任があります。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
スポーツ原理	経営学科	必修	1	25
スポーツ指導論	経営学科	必修	2	
生徒・進路指導論	全学科	必修	2	
保健体育科教育法Ⅰ	経営学科	必修	3	19
保健体育科教育法Ⅲ	経営学科	必修	3	
保健体育科教育法Ⅳ	経営学科	必修	3	
教育実習(事前・事後指導)	経営学科	必修	4	11
教育実習(事前・事後指導)	経営学科	必修	3	
教職実践演習	経営学科	必修	4	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	私は、教育現場において公正・公平な学校づくりが大切だと考えています。その要になるのが教員です。自らが教員・生徒・保護者等から信頼せられ、自ら考え、行動できる教員の育成と、体育教員としての授業に必要な知識と技能を習得し、求められている自分の役割を考えて責務を果たせる教師を育てることを目標にしています。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	授業では、基礎的な学習指導論を理解し、保健体育教育の独自の役割をわかりやすく指導しています。また、体育が個人や社会に果たす役割と意義を伝え、生涯スポーツの大切さを学ばせています。
----	---

アクティブラーニングについての取組	我が国のスポーツ（体育）の実情や問題点など、グループで意見交換したり、意見をまとめ、発表したりして主体的・対話的で深い学びができるように取り組んでいます。また、その中で、コミュニケーション能力や仲間を尊重しながらも、自分の考え方を確かめてまとめる経験をさせています。
ICT の教育への活用	Microsoft Teams で課題や資料配布を行っています。また、PC による学習指導案の作成やパワーポイントを活用した授業づくりを行っています。
その他の創意工夫	授業は、座席指定にして座り、学生の名前を早く覚えたり、授業態度などの評価もできるようにしています。また、グループ討議やペアでの作業などの編成にも短時間でスムーズに行っています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	「授業スキルに関する設問」「授業内容に関する設問」とも平均 4.3 の評価をいただきました。特に授業に「興味・関心があった」設問には、4.6 の評価を得ています。
学生の学修成果	私が、担当してから公立の体育教員になった卒業性は数人しかいません。毎年、10 数名の履修者がいますが、ほとんどが企業に勤め、チャンスがあれば教員を目指す集団です。但し、不合格後も、採用試験にチャレンジしながら、期限付き教員、時間講師や非常勤教師で現場で働き、正規の教員を目指して頑張っている卒業生もいます。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

他学科の基礎ゼミを共有させてもらいながら、教員を目指す学生が、一人でも多く採用試験に合格するよう一層サポートしていきます。また、模擬授業や教育実習時の姿勢・態度など、多くの皆さんのお陰で実施できていることに感謝し、本学の学生として、誇りを持って成長させたいと思っています。
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

7. ティーチング・ポートフォリオの更新

令和 5 年 8 月 31 日 更新

以上

令和5(2023)年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	特任教授 戸佐晃一
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、保健体育の教員免許取得に関わる実技科目の授業を主に担当しています。実技科目は技術習得にとどまらず安全配慮を最優先することを考え、その中でも楽しいと実感できる授業内容を実践できる指導者の育成を目指しています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
水泳	経営学科	必修	3	
基礎ゼミナールⅡA・B	全学科	必修	2	10
球技Ⅲ (バドミントン)	経営学科	選択必修	2	
陸上競技	経営学科	必修	1	27
スポーツ社会学	経営学科	選択	1	
基礎ゼミナールⅠA・B	全学科	必修	1	13

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育 理念・目標	国際化、産業構造の変化、少子高齢化、そして価値観の多様化が急速に進み、先行きの予測が困難な複雑で変化の激しい現代社会において、共生社会の実現に資する幅広い豊かな教養と経営学科の素養に裏づけられた柔軟な思考、総合的で的確な判断とそれにもとづく迅速な行動ができる論理的な分析力に裏づけられた実務処理能力のある人材を養成する。 【経営学科】 企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育 理念・目標	保健体育の教員免許取得に関わる授業科目を通して、特に実技科目において集団の中でのコミュニケーション能力やリーダーシップを身に付けてほしい。また、スポーツの色々な楽しみ方、得意な子、苦手な子、障害のある子も一緒に楽しむことができる多様性のあるスポーツの開発や楽しみ方を身につけてほしい。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授 業	知識や技術の習得にとどまらず知識を生かしたコミュニケーション能力やリーダーシップを授業の中で発揮できるようにする。グループによるグループワークを通して話し合いをする、自分の意見を述べることでコミュニケーション能力やリーダーシップが取れるような授業の展開を工夫する。
アクティブラーニングについての取組	グループワークの実施で課題解決に向けての資料収集・話し合い・発表などを通して自分の考えや意見を発言できるようにする。
ICT の教育への活用	タブレットや携帯電話の録画機能を利用することで、実技におけるフォームの確認、ゲームにおけるフォーメーションの確認などに活用する。
その他の創意工夫	クォーター制による週 2 回実施の授業の 1 回目は授業内容の理解を中心に学習し、その学習した内容を踏まえて、2 回目については、1 回目授業内容に関連するキーワードを抽出し根拠となる資料収集、調査をすることで、より詳細で具体的なレポート作成を目指している。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	タブレットなどの ICT 機器の活用において、実技のフォームの確認、修正場面においては学生も積極的に活用しとても有効であったと感じた。
学生の学修成果	学生も動画の撮影やフォームの確認に今まで以上に熱心に取り組むようになった。 フォームの修正においても今までより気づきや課題発見が早くなり短時間で習得ができるようになった。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

単なる知識の詰め込みに終わらず、楽しく安全な授業の展開を考えることができ、また生徒の気持ちになって寄り添うことができる教員の育成を目指していきたい。
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketokako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	特任教授 山本一彦
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

共通教育科目人文社会科学区分の社会学入門、専門科目展開科目区分のコミュニケーション論、サードセクター論、産業社会論など社会科学領域の科目、および、共通教育科目修学基礎区分の基礎ゼミナールⅠA、B、同ⅡA、B、共通教育科目キャリア支援区分のキャリアデザインⅠを担当しています。

受講者が在学中から卒業後に至るライフキャリア形成過程で直面するであろう諸問題に対し、自ら考える姿勢と解決に臨む力量の涵養を図ることが私の教育の責任であると思います。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
社会学入門	経営学科	選択	2	
コミュニケーション論	経営学科	選択	1	97
サードセクター論	経営学科	選択	1	
産業社会論	経営学科	選択	4	28
基礎ゼミナールⅠA、B	全学科	必修	1	19
基礎ゼミナールⅡA、B	全学科	必修	2	7
キャリアデザインⅠ	全学科	必修	1	127

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】

個人の教育 理念・目標	<p>高度産業化段階にある現代社会において、自らのライフキャリアを能動的に形成し、共生社会実現のための一翼を担う公民・市民となってもらうよう教育活動に臨むことを理念としています。</p> <p>各授業科目各単元等の事実知識の修得に止まらず、一義的な解を得にくい社会的諸問題をどう捉え、如何に対応する社会人となっていくのかを受講者自らが意識し、考えられるように促すこと、即ち、広義のキャリアサポートを目標としています。</p>
----------------	--

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授 業	<p>授業展開においては、各単元・テーマに関わる事例・実例、および、それら事例・実例に対する多様な見解を提示して、拙速に「正解」を求めず、まず何が「問題」であるのか、如何なる「立場」・「価値判断」で対応しようとする主体であるのか、自ら気づいていけるよう促すことを目指しています。単に両論併記的な内容にせず、テーマによっては授業担当者としての個人の見解なども示し、受講者の「深い学び」に繋がるような展開を心掛けています。</p>
アクティ ブラー ニング につい ての 取組	<p>問題投げかけによる受講者のディープラーニングの促しや、ゼミにおいてはテーマごとに受講者自らの見解をミニ・レポートに述べてもらい、次のゼミの時間にゼミ生の見解の全体的傾向を解説し、再度、自らの見解を振り返ってもらう進め方を取っています。</p>
ICT の教 育 への活 用	<p>授業展開自体では機器類は使用しませんが、科目内容や試験等に関する問い合わせへの回答などをチャット利用で行なっています。</p>
その他 の 創意 工夫	<p>板書表記はテキスト表現に偏らずに「概念」や「相関・因果・時系列」などを適宜「図化・記号化」して表示し、受講者にとってのディープラーニングの助けとなるように試みしています。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善 アンケート の結果	<p>科目や受講者数によって比率の違いはあるものの、理解度においては概ね良好な結果を得ており、「図」化した板書表記には分かりやすいという評価も受けています。</p>
学生の 学修 成果	<p>とりわけゼミにおいて、各テーマごとのミニ・レポートでの受講者の見解や学期末における自己の学習の振り返り内容等から、これまで意識することのなかった社会的・時代的課題に気づくようになったことがうかがわれます。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>今後は、全受講者が高校教育課程の新たな共通必修科目「公共」を学んでいくことから、公民科目「公共」の趣旨を継承し、更に高等教育における社会科学科目の水準へ引き上げ、受講者の「深い学び」が達成されるよう授業構成・展開を図ります。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketokako/>

◎根拠資料

- ・基礎ゼミナールⅠA・ⅡAのミニ・レポート課題（抜粋）
- ・キャリアデザインⅠの試験問題

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	准教授 石山 玄幸
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、経営の専門科目を中心に、1年次の中小企業論、3年時の経営分析論を担当しています。所属学科が経営学科であることから、学生には、経営学に必要な理論を身に付けてもらった上で、経営学の理論を社会人になってからの問題解決の手法の一つとして、活用できる能力を醸成することが、私の責務と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
経営分析論	経営学科	必修	3	84
アグリビジネス論	経営学科	選択	3	30
中小企業論	経営学科	選択	1	100
専門演習Ⅰ	経営学科	必修	3	12
専門演習Ⅱ	経営学科	必修	4	14

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。
個人の教育理念・目標	私の教育理念は、「社会人として活躍できる人材を育成すること」です。経営学は、社会人に成るにあたり、とても有益な学問の一つであると考えられます。しかし、理論を中心とした知識だけでは、決して、社会人の実務において、すぐに活用できるものではありません。そこで、学生時代のうちに、ゼミナールを中心として、理論だけではなく、実践・実習ができる「場」を積極的に提供していくことを目標としています。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	授業では、「理解」「反復」「応用」を意識して展開しています。「理解」とは、学生に経営学の理論や仕組みをしっかりと理解させることです。具体的には、学生が身近に感じる事例を挙げることで少しでもわかりやすい内容としています。
----	---

	<p>「反復」とは、「理解」の部分でわかりやすく解説した後、パワポに投影した内容について、敢えて時間を確保して、学生にノートを書かせています。これは、実際に自分で手書きすることで理解を深めるという意味もあります。</p> <p>「応用」とは、毎回、講義の最後に 400 字程度のレポートを学生に書かせることで、より理解を深め、レポート課題に対して、理論や仕組みを自分の言葉で表現できるような応用力を身に付けることができるよう努力している。</p>
アクティブラーニングについての取組	経営学は、社会科学の一分野であるが、社会科学は、自然科学分野とは違い答えが一つではないことから、しっかりと根拠を持った意見を持った発表ができるようにグループディスカッションなどを積極的に取り組むように意識しています。
ICT の教育への活用	マイクロソフト TEAMS を活用して、学生と個別のチャットや Forms による小テストなどで活用している。資料の配布も紙ベースではなく、電子データとして配布できるメリットもある。
その他の創意工夫	毎回、講義の最後に 400 字程度のレポートを学生に書かせることで、より理解を深めているが、レポートには、課題だけではなく、学生の希望や意見等も書いても良いようにしている。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	
学生の学修成果	

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和5(2023)年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	准教授 佐藤和裕
---------	--------------	-------	----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、身体教育学、応用健康科学の教養教育及び専門教育として、スポーツ総合や健康科学の授業を担当しています。将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を養い生涯教育の一環として、健康について将来の社会生活における健全な生活実践へ向けて望ましい健康観を確立し育成することが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎ゼミナールⅠA・ⅠB	全学科	必修	1	4
基礎ゼミナールⅡA・ⅡB	全学科	必修	2	4
スポーツとヘルスケア	経営学科	選択	3	48
スポーツ心理学	経営学科	選択	1	43
スポーツ総合	経営学科	必修	1	39
球技Ⅴ(ラグビー)	経営学科	選択	3	
健康科学	デザイン学科・建築学科	必修	1	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	スポーツを通して得られる、目標を持つことの大切さや社会に役立つ能力を育成することを教育理念としています。 何事においても目標を持ち、努力することやチャレンジすることの大切さを伝え、スポーツで得られるものは、そのスポーツの技術だけではなく、ルールを守ることや、コミュニケーションなど人として当たり前のことをしっかりと実践できるように徹底させ、集団での活動を円滑に進めていくための、リーダーシップやフォロワーシップが必要であり、社会で活躍するためにも重要であるためスポーツを通して身に付けられるよう、学生主体を意識させ、授業においてその方法論や考え方を伝え、又、体の健康はとても大切なため、運動、栄養、休養といった生活習慣の重要性など実践方法を伝え、健康で活躍できる人材の育成を目標としています。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	<p>教育の理念を実現するための考え方、方法として「目標を持つことの大切さを伝える」「社会で活躍するために必要なことを伝える」「健康に大切な行動、知識を伝える」を重視して授業を行っている。</p> <p>「目標を持つことの大切さを伝える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技実施による成功体験によって目標達成の楽しさを伝える。 ・目標を明確化し、それに向けて行動しフィードバックしながら改善しサポートしていく。 <p>「社会で活躍するために必要なことを伝える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や時間を守ると言った、当たり前のことをしっかりと実践できるように徹底させる。 ・学生が中心となり、主体的に活動できるようにサポートする。 ・コミュニケーションが取れるように時間や雰囲気を作る。 ・リーダーシップやフォロワーシップがどのようなものかを伝え、自分に合った役割が何かを明確化させる。 <p>「健康に大切な行動、知識を伝える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの楽しさを伝え、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を養っていく。 ・運動、栄養、休養といった生活習慣の重要な実践方法を伝えていく。 ・スポーツが不得手な学生にも楽しんでもらえるように工夫する。
アクティブラーニングについての取組	<p>講義形式の授業では、グループワークの時間を何回か設定しテーマに沿って「思考・考察」「意見交換」「課題解決」「プレゼンテーション」などの機会を設けています。</p> <p>実技形式の授業では、特に集団スポーツにおいては、学生同士の議論などの能動的活動に取り組む時間を取っています。</p>
ICTの教育への活用	<p>全ての授業において、Microsoft Teams/Formsを活用しアンケートや質問小テスト、又はプレゼンテーションや視聴覚教材も併用し説明を行っています。</p>
その他の創意工夫	<p>学生の要望や質問などは口頭で対応したり、授業時間外はMicrosoft Teamsのチャットで対応したりしています。</p>

4. 教育の成果 (その方法を行った結果、どうだったか?)

授業改善アンケートの結果	<p>授業改善アンケート設問10の授業は全体的にどの程度満足していますか、という項目に対して「とても満足できた」～「満足できた」の選択率は、スポーツとヘルスケア：100%、スポーツ心理学：97%、スポーツ総合：100%と一定の成果を得ることができ、自由記述からはとてもわかりやすい授業だったとコメントを受けています。</p>
学生の学修成果	<p>授業改善アンケート設問8のこの授業の内容は理解できましたか、という項目に対して「とても理解できた」～「理解できた」の選択率は、スポーツとヘルスケア：100%、スポーツ心理学：96%、スポーツ総合：100%と一定の成果は得られていると思われます。</p>

5. 今後の目標 (以上を踏まえて、今後どうするのか?)

<p>今後の目標としては、各学生が興味を持てる内容を把握し、理解してもらうことを意識し教材研究に努めてまいります。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

スライド資料（配布資料）

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	准教授 中川純二
---------	--------------	-------	----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、中学・高校保健体育科教諭における、保健体育分野と共通教育科目を担当し、健康・安全についての理解を深め、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、運動やスポーツを豊かに実践し、健康の保持増進が維持できるようにすることが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
スポーツ総合 A	経営学科	必修	1	40
基礎ゼミナールⅠ A・B	全学科	必修	1	10
健康科学	経営学科	必修	1	120
基礎ゼミナールⅡ A・B	全学科	必修	2	10
柔道	経営学科	必修	3	15

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	教育理念は「自分の健康を生涯保持増進できるように管理すること。」で、個人の体力や年齢に合わせてスポーツや運動を実践できるようになることです。卒業後は個人やサークル等を通じ楽しくスポーツに参加できるよう、色々なスポーツやニュースポーツ等のルールを理解し実践できるようになる事です。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>このような理念や目的を実現するためには様々な方法が考えられる。私が担当している講座科目は「スポーツ総合」「基礎ゼミⅠA・ⅠB」「基礎ゼミⅡA・ⅡB」「健康科学」「柔道」で共通している点が多い。</p> <p>目標は「自分の健康を生涯保持増進できるようにするためには、生活の中に様々な運動を取り入れることができるような資質や能力を身につけること」である。</p> <p>具体的には年齢や体力に合った運動を数多く実践することによって、その運動の楽しさや、体への効果を知ることができるようになり、運動への親しみを育んでいけるようになることを目標としている。その為には、運動に対する能力や適正・関心等を考えながら指導を行うことが大切である。</p> <p>また、自分の健康を保持増進していく為には、自分の身体の発育や発達、怪我や病気の予防についての基礎知識を理解し、どのように実践しなければならないかを考える。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>授業中に練習方法や試合の方法などを学生達に考えさせ実施し、楽しみながら授業を進めています。</p> <p>友達各個人の運動技量などを考えながら、運動の楽しさや喜びが得られるよう自ら考え工夫しながら実施できるようにしています。</p>
ICTの教育への活用	<p>Teams を利用し、各競技のルールリンクを示し、学生が授業時間外においても自学自習できるようにしています。</p> <p>スポーツ観戦を行う際、事前にルールの確認を行い楽しく興味を持って観戦ができるようにしています。</p>
その他の創意工夫	<p>毎回、ゲームの方法を学生と考え、楽しめる授業を行っている。</p> <p>授業当日の体調不良などを teams 等で連絡を入れてもらい確認を行う。</p> <p>質問等に関しててもて teams を活用している。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>授業内容の適切な評価を得ることができている。学生の自由記述からは楽しく授業を行い適度な運動を実施することができたとコメントを受けています。</p>
学生の学修成果	<p>「身体を楽しく動かせました。」や「身体を動かすことの大切さを知ることができたのでよかったです。」等のコメントなどがあり、一定の成果が出ているものと自己分析します。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか?）

短期目標としては、学生が興味を持てるニュースポーツを研究し、将来的にニュースポーツ等が実施できるように指導を行っていきたい。
長期目標には、自分に合った生涯継続可能なスポーツを各個人で持てるよう指導を継続的に行っていきたい。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketokako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	准教授 米野 宏
---------	--------------	-------	----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか？ 担当科目は？)

①教育の責任

保健体育関係の教養科目を軸に、本学学生の「健康や体力の保持増進」「生涯スポーツへの動機付け」あるいは「社会性の涵養」を目指して教育活動を施すこと、また、将来は保健体育の教師を目指している学生のために体育学及び実技の指導方法を伝えることが私の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
健康科学	経営学科	必修	1	120
スポーツ総合	経営学科	必修	1	40
運動学	経営学科・スポーツ	選択	3	20
スポーツⅣ(ソフトボール)	経営学科・スポーツ	選択	2	20
基礎ゼミナールⅠ	全学部	必修	1	7
基礎ゼミナールⅡ	全学部	必修	2	10

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか？育てたい学生像など？)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	「健康科学」及び「スポーツ総合」の授業においては、本学の学生が生涯教育の一環として、健康やスポーツについての基礎的かつ科学的知識を深めさせるとともに、将来の社会生活における健全な生活実践へ向けての望ましい健康観を確立し、豊かな人間性の育成に向けて指導したい。 また、運動・スポーツ活動を通じて将来の社会生活におけるコミュニケーション能力も高まることも期待したい。 教職課程(保健体育)の「運動学」及び「スポーツⅣ(ソフトボール)」においては、学校の保健体育に携わることを希望している学生に、当該科目における理論の教授に留まらず、我が国の将来を担う子供の健康的な生活に向けて努力できる人間性の醸成にも役立ちたい。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p><健康科学> 健康科学においては、担当する複数教員で作成したテキスト「大が学生のための健康科学」を使用しながら比較的広い分野をテーマにして授業を行う。 健康や体力に関する概念の教示に加え、食生活、運動処方、感染症予防などの内容を学習させる。</p> <p><スポーツ総合> スポーツ総合においては、個人競技とチームスポーツを取り入れながら各人の得意な種目を確認させるとともに、運動・スポーツを楽しむ精神を持つことができ、さらに、学生間のコミュニケーションを醸成できるような雰囲気での授業を進める。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p><基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ> 基礎ゼミナールⅠ、Ⅱについては、「ニュースポーツ」や「パラスポーツ」をテーマにして、新しいスポーツの創造をめざしてグループでのディスカッションやスポーツの体験を行っています。</p>
ICTの教育への活用	特に行っていない。
その他の創意工夫	スポーツ総合においては、これまでの体育で扱ってきた既存のスポーツ種目にこだわらず、いずれ近い将来迎える社会人、高齢者としての身体活動を意識した種目選択を取り入れている。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	「スポーツ総合」においては、満足度が高い数字になっていたの安心しているところですが、授業の時間配分には若干の不満があるので今後は注意をして臨みたい。
学生の学修成果	「スポーツ総合」における学生の体力や実技の能力に関しては、4カ月の期間ゆえに期待は望めないものの、運動に臨む姿勢については積極性を感じたので、生涯スポーツに対する関心や意識づけには期待できそうである。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

運動嫌いの学生に対するスポーツ活動の意識改革とコミュニケーション能力の向上に向けた実技の内容を工夫してみたい。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和5(2023)年度

星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	専任講師 天野雅斗
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は保健体育関連の専門教育として、学校保健や球技Ⅱ(バレーボール)などの授業を担当しています。経営学科で教職課程を専攻している学生に、保健体育教員としての実務能力を身につけさせることが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
スポーツ経営管理論	経営学科	必修	2	93
専門演習ⅠA	経営学科	必修	3	15
専門演習ⅠB	経営学科	必修	3	15
専門演習ⅡA	経営学科	必修	4	15
専門演習ⅡB	経営学科	必修	4	15
卒業論文	経営学科	必修	4	15
学校保健	経営学科	選択	2	20
球技Ⅰ(バスケットボール)	経営学科	選択	2	18
球技Ⅱ(バレーボール)	経営学科	選択	2	16
スポーツ生理学	経営学科	選択	3	27
ダンス	経営学科	選択	3	10

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	スポーツ・保健体育に関する知識・技術を修得し、その知識・技術を総合的に理解・応用することができる能力と、心身の発達段階に応じた実技指導能力及び生涯スポーツ社会における豊かなスポーツライフの実現に寄与できる能力(幅広く深い教養、科学的根拠に基づく意思決定力、豊かな人間性)を身につけた人材を育てることを教育理念としています。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>授業の中では、教師としての倫理観や使命感、責任感、教育的愛情、総合的人間力、教科や教職に関する専門的知識、実践的指導力、コミュニケーション能力、ファシリテーション能力、Society5.0 時代に対応した情報活用能力、データリテラシーを養うことを目指しています。</p> <p>「専門的知識・実践的体育指導力」 高い実践的指導力を身につけるために運動経験とともに発育発達段階ごとの子どもたちの心身の特徴、取り巻く社会環境を理解する必要があります。保健体育に関わる身体教育学、スポーツ科学、健康科学、医学、衛生学等、様々な学問領域を繋げていくことで多角的な視点から指導できる教員の養成を心がけています。</p> <p>「コミュニケーション能力・ファシリテーション能力」 学習する上で、自分や他者が理解し切れなかった部分を共有し、お互いに教え合うことも重視しています。教え合うという活動は教わる側だけではなく教える側にも、人に説明することによりプレゼンテーション能力を磨きながら自分の理解度を改めて確認できるという学習効果が期待できます。</p> <p>「情報活用能力、データリテラシー」 学生が受動的学習に留まらないように、自分で考える・自分で調べる・自分で答えを模索する・学生同士で話し合うといった能動的活動に導くことで、ICTの活用方法・スポーツデータサイエンスの基礎が身につくような授業実践を心がけています。</p>
アクティブラーニングについての取組	授業中に、演習課題や学生同士の議論などの能動的活動に取り組む時間を多く取っています。
ICTの教育への活用	学習管理システムを通じた授業資料の配布により、学生が授業時間外も自学自習できるようにしています。また、ウェブベースの聴衆参加システム（Mentimeter）を活用して従来の授業ではコメントに躊躇する学生も気軽にコメント出来たり教員側もリアルタイムにコメントに対する回答が出来るような双方向型授業を展開しています。
その他の創意工夫	毎回、演習課題などを提出してもらって理解度を測っています。授業中に取る演習の時間に、質問への対応を行っています。授業時間外ではメールで質問に対応しています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	各担当科目のいずれの項目でも一定評価を有しており、学生の自由記述からはスポーツ・保健体育分野での専門的知識を身につけることができたというコメントを受けています。
学生の学修成果	学生同士のグループ学習から得意でなかった体育実技科目に対する自信がついたとコメントが上がっており、一定の成果は得られていると自己分析します。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、経営学科の学生が興味を持てる題材を把握し、学校保健や各実技科目を学ぶ際の課題に反映させていきます。</p> <p>長期目標としては、スポーツデータサイエンスを学ぶための ICT 教材作りを行っています。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

試験問題

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	専任講師 川津大樹
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、経営学関連の専門教育として、会計学の授業を中心に担当しています。本学の学生が、社会人として必要な会計学・経営学の知識を学ぶとともに、物事の考え方（論理的思考法）を身につけるようにすることが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
コーポレートファイナンス論	経営学科	選択	3	57
職業指導 (M)	経営学科	選択	3	49
簿記論	経営学科	必修	1	未確定
財務会計論	経営学科	必修	2	未確定

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。
個人の教育理念・目標	「Society5.0 社会に向けて必要な社会的課題の発見と理解に必要な知識を身につけ、その解決に向けて取り組み、社会に貢献できる人材を育てる」ことを教育理念としています。 2015年に国連総会で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)では、一人ひとりがこの目標に取り組むことが求められており、それに伴い、環境・社会・ガバナンス (ESG) に関する問題に注目が集められています。したがって、本学の学生が、「社会では何が問題になっているか」「それを少しでも解決するために、自分に何ができるか」を考え、行動していく必要があります。そのために、会計学・経営学の観点から、これら社会問題について学び、これらの学問を題材として、物事の考え方（論理的思考法）を身につけてもらえるような教育のデザインをしていきたいです。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>授業の中では、①「実務と学問の繋がりを考える」、②「因果関係を意識して、論理的思考を行う」ように指導してきました。</p> <p>①「学問と実務の繋がりについて考える」 授業は、原則としてテキストに沿って進められるものの、日本経済新聞の記事や企業のプレスリリースを副教材として使用することで、講義内容と実務の繋がりを意識させるようにしました。これによって、テキストに書かれてある内容が、実務といかに関係しているか（逆に、実務ではテキスト通りにいかないこともあるか）を問い、身近な出来事として関心を抱かせるように努めました。</p> <p>②「因果関係を意識して、論理的思考を行う」 ある論点を取り上げる際は、その背後にある考え方や、それに至る経緯を説明することで、因果関係の存在を意識させるようにしました。これによって、講義内容を丸暗記するのではなく、その原因となる事柄を含めて複合的に理解することを試みています。レポート課題についても、因果関係に着目して作成するように指導しました。因果関係の存在を問い、目の前にある事象（結果）だけでなく、その背後にある事象（原因）まで対象として考えることで、論理的思考力の習得を目指しています。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>授業中に、実際に起きた（または起こり得る）実務上の問題を取り上げ、受講生に「自分ならどうするか」を考え、話し合う時間を設け、能動的に授業に取り組む時間を取っています。</p> <p>授業時に毎回行う小テスト・リアクションも、計算問題など「答えがあるもの」に加えて、「自由に考える答えが一定ではないもの」を課して、自ら考える機会を提供するように心がけました。実施後は、速やかに解説や補足説明を行っています。</p> <p>また、座学中心の講義内容であっても、電卓を持ち込み、計算演習を行うことで、話を聞くだけでなく、能動的に学ぶ機会を設けました。</p>
ICTの教育への活用	<p>今年度の職業指導（M）では、Google Meet を使用して、オンライン講演会を実施しました。</p> <p>講師（大分県の方）とオンラインで回線を繋ぎ、学生との質疑応答も行えるように対応することで、双方向型の講演会が実施できました。</p>
その他の創意工夫	<p>毎回、小テスト・リアクションペーパーを提出してもらって理解度を測っています。</p> <p>授業終了後に質問を受け付ける時間を設けるとともに、授業時間外でもTeams で質問に随時対応しています。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>前期の講義（コーポレートファイナンス論と職業指導）では、いずれの項目でも9割近くで「適切」以上の評価をいただいています。</p> <p>一方、「内容が詰め込み過ぎだった」という意見もいただいております。次年度に向けて、授業で取り扱うボリュームの見直しを行う必要があるとも考えます。</p>
学生の学修成果	<p>職業指導（M）については、オンライン講演会を実施したことで、「経営実務や就職活動に対する考えが深まった」という意見をいただきました（授業評価アンケート以外で別途行ったリアクションペーパーによる）。</p> <p>コーポレートファイナンス論については、「投資に関心を持った」という声をいただいたが、投資は、当該講義内容の一側面であり、別の側面についても関心を持ってもらえるように、講義内容の改善を図る必要があると考えます。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<短期目標>

リアクションペーパー等の回答を踏まえ、取り上げる論点のボリュームを見直します。また、会計基準の改正や実務の変化にも対応できるよう、教材の内容をアップデートしていきます。

<長期目標>

サステナビリティ報告の開示基準改正やサステナブル・ファイナンスの拡大など、会計学・経営学においても、ESG 問題が重要になっています。これらの領域についても、副教材内で取り上げることで、受講者が社会環境の変化に対応できる教育の実践を目指します。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

レポート課題（職業指導）、リアクションペーパー・小テスト、配布した副教材（追加資料）

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	専任講師 小林 州介
---------	--------------	-------	------------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は日本経済史や西洋経済史、金融論、北海道経済論等、経済理論そのものではなく、それを応用し、活用する様な科目を教えています。より現実の経済に即した説明が求められるため、

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
専門演習 IA・IB	経営学部経営学科	必修	3	7
日本経済史	経営学部経営学科	必修	1	45
西洋経済史	経営学部経営学科	選択	1	
金融論	経営学部経営学科	選択	4	
北海道経済論	経営学部経営学科	選択	2	
経済学入門	全学科	選択	2	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。
個人の教育理念・目標	社会や経済における問題点を見つけ、他者と協力しつつも独自の解決策を考えだせる学生を送り出したいと考えています。経済学という学問はある程度、目的や思考の型が決まっており、「効率的」な意志決定を導くという点では優れていますが、あらゆる複雑な問題解決に対して有効というわけではありません。現実の社会の中で、いかに創造的な問題解決策を導出できるかは、問題に対する積極性にかかっていると思います。学生が積極的に目標に立ち向かえるような教育を行いたいです。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	経済学の利点と難点を理解してもらうため、できるだけ現実に生じた問題に適用して考えることを行っています。他方で、オーソドックスな経済学だけ
----	--

	では説明がつかないことも多く、経済理論とはまた異なる分析を必要とする領域に関しては、例えば制度の重要性や企業者の役割などの個別の分析を、より重点的に教えるようにしています。特に経済に積極的に関わる経済主体としての企業者に関する話題については、意識的に教材に取り入れるようにしています。
アクティブラーニングについての取組	新書の輪読(AI に関する本)を行っているゼミにおいては、毎回担当者を決め、担当者が要約した内容について議論を行うよう促しています。また、スタートアップの企業者と会う機会を設け、ゼミにおける議論の経験を生かす場を設けました。まだまだ個人差はありますが、企業者と臆することなく、自分の意見を言える学生も何名かおりました。
ICT の教育への活用	各回の資料や演習ノートは TEAMS 上で配布し、また疑問や質問、連絡なども TEAMS のチャット機能にて行っています。
その他の創意工夫	日本経済史では、毎回演習ノートとして、穴埋め問題やまとめの書き込み、要点整理の箇所などをあらかじめ配置したものを配布して、予習・復習に役立ててもらっています。また、できるだけアニメーションによる動きを多くして見やすい TTP の作成を心がけています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	アンケートでは、いずれの項目においても 9 割以上が「満足」以上を付けており、一定の成果は得たと考えています。しかし、私の体調不良で 2 回の休講となり、休講の分の出席(レポートや補講)についての不満が一件だけありました。
学生の学修成果	ほぼ試験にて成績を付けたのですが、第 2 クォーターを通じて各自でしっかりと作成したノートを基に、試験結果はまずまずの高得点が記録され、最低限の学習効果があったと考えています。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>日本経済史については現在の方法で一定の成果を上げているということで、今後も引き続きノート配布型の講義を行おうと考えていますが、PPT 自体に見づらさや理解しにくい点も多く、スライド資料の改良が今後の課題であると考えています。成績の向上もそうですが、現状では「内容の理解」と「知識の定着」のための試みがより必要です。また、専門演習に関しては、まだまだ各人の議論の参加に差があるので、全員が参加して意味のある議論ができるように工夫(質問者の設定・全員が同じ回の講評を行う等)を重ねたいと思います。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	専任講師 薦田勇智
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、大学において数理・データサイエンス関連の教養科目を担当しています。この科目では、数学や統計学などの基本的な知識を学びながら、情報リテラシーも養うよう心掛けています。

学生たちは、専門科目でより高度な知識を学ぶ前に、この教養科目を修得することで、専門分野の学習に必要な基盤を築くことができます。学生たちが専門分野でしっかりと成果を上げるための土台づくりをサポートすることが私の教育の責任だと考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当 年次	受講 者数
情報基礎演習Ⅰ	全学科	必修	1	275
情報基礎演習Ⅱ	全学科	必修	2	268
経営情報論	経営学科	必修	2	117
データサイエンス基礎	全学科	必修	1	275
データサイエンスプログラム	全学科	選択	2	
基礎ゼミナールⅠA・B	全学科	必修	1	11
基礎ゼミナールⅡA・B	全学科	必修	2	2

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育 理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育 理念・目標	私の教育目標は、学生たちに広い視野と実践的な問題解決力を養い、グローバルな視点と専門性を持つ有能な人材となるよう導きます。学際的な学びを通じて、未来のビジネス界での成功を支援します。 私の教育目標は、学生たちに幅広い視野を持たせることを重視します。また、経営学の基礎を徹底的に学ばせ、ビジネス環境での実践的な問題解決力を養成します。さらに、ビッグデータの解析や情報システムの構築・運用に必要なスキルを学生に教授し、情報系の専門性を高めることを目指します。これらの教育目標によって、学生たちが未来のビジネス界で活躍できる有能な人材となることを支援します。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>「事例の活用」「PBL (Project Based Learning) を用いた学習」「データ分析と情報システムの演習」の3つを中心に授業に取り組むことにより、学生の経営学に対する理解を深め、情報を適切に扱うことができる人材になってもらうことを目指しています。</p> <p>「事例の活用」 現実のビジネス事例を取り上げ、学生たちが幅広い視野で問題解決に取り組めるようにします。経営学の基本理論と結びつけ、実践的な対応策を考えさせます。</p> <p>「PBL を用いた学習」 学生たちにビジネス環境での実践的な問題解決力を養成するため、チームプロジェクトを通じて実際のビジネス課題に取り組ませます。経営学の基礎を応用し、創造的な解決策を提案させます。</p> <p>「データ分析と情報システムの演習」 ビッグデータの解析や情報システムの構築・運用に必要なスキルを学生に実践的に教授します。リアルなデータを用いて問題解決に挑戦し、情報系の専門性を高めます。</p>
アクティブラーニングについての取組	アクティブラーニングの一環として、学生同士がお互いにサポートし合い、理解できない部分については迅速に調査し解決する取り組みを行っています。
ICT の教育への活用	私の授業では、Teams を活用して授業のレジュメを提供し、学生がいつでも自己学習を行えるようにしています。さらに、身の周りに存在する ICT リソースを活用し、学生に ICT に関する理解を深める機会を提供しています。
その他の創意工夫	新しい技術 (ChatGPT 等の生成 AI) に早い段階で触れておくことにより、理解を深めると共に社会に置いて行かれないような工夫をしています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	各担当科目のいずれの項目でも 4.0 以上と一定評価を有しており、学生の自由記述からは分からない所をすぐ質問でき、疑問をすぐ解決することが出来た、office の使い方を楽しく学ぶことが出来たとコメントを受けました。
学生の学修成果	苦手な Excel を克服できた、分かりやすい説明をしてもらえた等のコメントが複数見受けられたため、一定の成果は得られていると自己分析します。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>〈短期目標〉 授業改善アンケートで授業の進みが速いとのコメントが複数見受けられたため、教育の質を保ちつつ学生が内容について理解をする時間を設けられるよう工夫していきたいと考えています。</p> <p>〈長期目標〉 これから生成 AI やそれ以上の技術がどんどん発展していくと思われるので、学生に最新の情報を正しく伝えることが出来るような環境を整えていきたいです。</p>
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	専任講師 篠原諒介
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか？ 担当科目は？)

①教育の責任

私は、スポーツ科学の科目として、トレーニング科学の授業を担当している。トレーニングは、働きかけの対象である身体機能を良く理解しなければ、効果が得られない場合もある。講義では、トレーニングに関わる身体の仕組み・働きについて解説し、各種スポーツ、体力づくりに必要なトレーニングの基礎理論を理解させ、女性と運動、中高年における健康に対する構成要素の知識を学ぶと共に障害者における運動と健康についても詳しく学習する。学生が、それぞれの専門科目で学習する内容を身につけるための基盤としてだけでなく、身体機能の特性を理解し、トレーニングの原理・原則を熟知させ各人の性、年齢、体力、健康状態を考慮し、適正なトレーニングの処方計画を作成できるようにすることが私の教育の責任と考えている。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎ゼミナールⅠA・B	全学科	必修	1	18
基礎ゼミナールⅡA・B	全学科	必修	2	
専門演習ⅠA・B	経営学科	必修	3	12
専門演習ⅡA・B	経営学科	必修	4	12
卒業論文	経営学科	選択	4	12
トレーニング科学Ⅰ・Ⅱ	経営学科	選択	1	60
教育実習(事前・事後指導)	経営学科	選択	4	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか？育てたい学生像など？)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】

個人の教育 理念・目標	<p>ただ単に、トレーニング方法を学ぶだけでなく、以下のことに取り組めるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修から得られた幅広く豊かな知識と教養、および自己の倫理観に基づき、果たすべき社会的責任を実現するための方法を適切に選択できる。 ・具体的な社会現象や社会問題を入り口に、「あたりまえ」の理解からは読み取れない現代社会の多層性と多様性を、収集したデータに基づき論理的・批判的に理解し、その本質を他者に説明することができる。 ・どのような研究課題や社会問題に対しても、その解決のために必要な情報や知識、資源を集め、分析を通じて解決策を提示することができる。 <p>そのために、スポーツ生理学・スポーツ心理学など、様々な学問を学び、データを基にして新たなモデルを構築する創造的判断力と科学的思考法でそれを検証するための論理的構成力を学生たちに身につけてもらう。</p>
----------------	---

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授 業	<p>具体的な実践内容として、講義スライドには教科書に掲載されていない写真やイラストを活用し、受講する学生にとって講義内容を視覚的に理解しやすくなるように工夫した。</p> <p>また、教員自らがモデルとなり、効果的なトレーニング方法や体成分(筋肉量など)の正しい測定手順を撮影した映像を講義内の教材として活用し、学生にそれらを実践する機会を設けることで、講義で得た知識を活用し、自身の身体についての考察を促した。</p>
アクティブ ラーニング についての 取組	<p>講義毎の最後に、レポート課題含んだ次回講義内容の解説資料を学生に配布し、次回の講義の前日の昼までに「予習レポート」を提出させる。レポートの評価は、正誤ではなく課題への取組みの真摯さの観点から3段階で評価を行った。</p>
ICT の教育 への活用	<p>具体的には、私が担当させて頂いた対面授業においてオンライン(同時配信)授業とのハイブリッド型授業を実施し、授業時間内に数回、グループ討議の時間を設けるように心がけた。Microsoft Forms による授業の出席管理を行うとともに、授業内容、理解できなかったこと、質問、感想等についても Forms で回答させることで学生の理解度を把握し、次回の授業でフィードバックを行った。また、Microsoft Teams を活用して事前に授業で使用する資料や授業の録画映像を共有することで、学生の事前・事後学習の一助とした。学生アンケートの結果からも満足度が高いことが確認できた。</p>
その他の 創意工夫	<p>講義内容についてスライド資料を作成した。作成にあたり、キーワードは伏せておき、学生との双方向授業を実現するために、学生への問いかけを行い、タイミング良く開示する工夫を講じている。スライド資料は、Microsoft Teams にてオンライン配布・公開し、いつでも閲覧可能状態とした。この教材により、授業内容について効率的な授業外学習が可能となった。</p>

4. 教育の成果 (その方法を行った結果、どうだったか?)

授業改善 アンケート の結果	<p>「理解度」に関する質問においては、「理解できた」以上の回答が86%、「満足度」に関する質問においては、「満足できた」以上の回答が98%という結果になった。また、学生からのコメントには、「講義のペースが早すぎず、遅すぎず、学生のペースに合わせてくれたので、一つ一つ理解しながら講義を受講できました」、「パワーポイントでの授業で、わかりやすくまとまり良かった」と高い評価を得ており、「教育効果を高める講義の工夫」や「予習レポートによる動機づけと授業設計」などの手法が、高い効果を上げたことを示す結果となっている。</p>
学生の 学修成果	<p>これらの方法によって学生は目的を持って講義に参加することができ、教員は学生の理解度に配慮した講義設計を行うことができるようになった。このような予方法を1年目は実施できなかったが、2年目以降実施してみた結果、定期テストであったり、レポート課題の内容が良くなり、学生の学力にもつながる効果をもつ可能性が示唆された。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

短期目標としては、各学科の学生が興味を持てる題材を把握し、運動や健康、トレーニング方法を学ぶ際の課題に反映させていきます。

長期目標としては、トレーニング方法を学ぶための ICT 教材作りを行っていきます。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	専任講師 三嶋康嗣
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、共通教育科目における修学基礎教育科目内の「健康とスポーツ」分野の授業と経営学部経営学科のスポーツ専攻分野におけるスポーツ系展開科目と中学校及び高等学校教諭養成における実技教科の担当をしている。また、修学基礎であるゼミナールについても担当している。運動・スポーツをツールとして健康のあり方を学修することを基盤としている。さらに専門分野では基礎内容を網羅した上で、社会における運動・スポーツの意義、発展を提案できる素養を育むこと、さらに専門である柔道のコーチング方法を用いて次世代の教員・指導者を育成することが私の教育の責任である。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎ゼミナールⅠA・B	全学科	必修	1	11
基礎ゼミナールⅡA・B	全学科	必修	2	10
スポーツ総合	社会福祉学科	必修	1	55
健康科学	デザイン学科・建築学科	必修	1	115
スポーツ行政学	経営学科	選択	1	75
スポーツとヘルスケア	経営学科	選択	3	40
柔道	経営学科	自由	3	15

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	柔道の言葉にある「精力善用」「自他共栄」これが私の教育理念である。「精力善用」これは自己の力を使って世の中の役に立つことのために使うという意味である。さらに「自他共栄」とは互いに助け合う相助相醸、すなわち自分も相手も共に栄えることである。学生が行うべき学修は「精力善用」「自他共栄」を実践していくことである。学生の本分は学業であることはいままでもないが、授業や課題に対しかに主体性をもって取り組むかが重要である。理由として自ら取り組むことで工夫が生まれ、それを続けることで困難であったものが克服されていくのである。難しいものであってもそれにチャレンジするというより、いかに慣れるか。そうすることによって振り返ったときに成長を実感できるも

	<p>のである。</p> <p>であるから学生には、小さい課題、今すぐ出来る若しくは手の付けやすい学習課題を提供し、実践を体験させることを促している。それを続けることで思考が生まれ、忍耐力が身に付き、いずれ主体性をもった学修行動に成長していくものとする。</p> <p>その習慣を体験させていくことで、学生期に社会生活の力を身につけていく素養を生む指導を目指している。</p>
--	--

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	<p>【基礎ゼミナールⅠA・B】</p> <p>骨・筋を中心からだの構造に関する基礎知識を身につけ、トレーニングルームにてトレーニングを実践しながらその目的を理解していく。トレーニングの経過を観察記録し、各自記録結果をパワーポイント等にまとめ、グループワーク等で思考・考察、意見交換、討論、発表等一連の活動を行い学修する。</p> <p>【基礎ゼミナールⅡA・B】</p> <p>からだの構造に関する基礎知識を踏まえ、体育館及びトレーニングルームにてトレーニングを実践しながら各トレーニングの特性の理解を深めていく。トレーニングの経過を観察記録し、各自記録結果をパワーポイント等にまとめ、グループワーク等で思考・考察、意見交換、討論、発表等一連の活動を行い学修する。</p> <p>【スポーツ総合】</p> <p>各種目の特性を考慮し基礎的な動作やルールを理解させ怪我に注意を払いながらゲーム運営ができるように配慮していく。また授業の中で種目ごとに理解されているのか確認の実技試験を実施する。</p> <p>【健康科学】</p> <p>授業の序盤は、健康観の変遷や健康の定義および体力の概念について概説する。中盤は、運動と身体、栄養と身体について概説する。終盤は生活習慣病や薬物依存などの現代における健康問題について概説する。</p> <p>【スポーツ行政学】</p> <p>本授業はテキストに準拠し、パワーポイントや配布資料を参照しながら進める。また、授業回によってグループワーク等で思考・考察、意見交換、討論、発表等一連の活動を行い学習する。</p> <p>【スポーツとヘルスケア】</p> <p>授業はパワーポイント及び配布物資料で実施しコンディショニングの事例を紹介しコンディショニングのDVDも活用しながら講義形式で行う。授業によってはグループワークで思考・考察・発表を行い学習していく。また、授業の終わりに確認の小テストを実施し、フィードバックとして回収後、回答の解説を行う。</p> <p>【柔道】</p> <p>授業は実技のため、各人の技量が必要となってくる。基本的な動作（礼法・受身・技）を習得し、安全に注意を払いながら指導できるようにしていく。また、審判法やルールを理解し、円滑に試合運営ができるようにする。欠席・見学は無いよう体調管理に気を付け技の習得につとめる事。習得状況の確認試験を実施する。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>授業において課題項目を学生同士でディスカッションしグループごとにプレゼンテーションを実施している。学生が自ら取り組むよう相互の意見交換を積極的に行い、一人一人が主体性をもって授業に参加できる時間をとっている。</p>
ICTの教育への活用	<p>授業毎の確認テストなどでフォームを活用し、解答後直ちに学生が授業内容をフィードバックできるようにしている。また、課題の提出、返却も共通のアプリケーションを用いて学生の個人端末からアクセスしやすい環境を整えている。</p>

その他の 創意工夫	授業毎の確認テストにて到達度の確認をしている。授業開始時に前回授業の復習を実施しフィードバックをすることでより理解度を上げるようにしている。ディスカッションでは授業回をまたぐことで内容を精査し、プレゼンテーションの練度高めるよう促している。 授業時間外においても、オフィスアワーやメール、アプリケーションにて随時質問事項への対応をしている。
--------------	---

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善 アンケート の結果	各担当科目の何れの項目でも4.2以上との一定評価を有している。また、令和4年度の「学生による授業改善アンケート（大規模授業）」において最も高い評価を得たことにより「優秀教育賞」を授与された。
学生の 学修成果	授業毎の確認テストにて授業内容を整理でき定期試験にも活用できたとコメントがあり、これにより学生が授業内容の確認していることが伺えることから一定の成果が得られていると分析する。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>学生が自ら学ぶ姿勢を保てるようアクティブラーニング方法をアップデートし続ける。インプットすべき内容の切り口を変化させ、かつ基本事項を網羅する。そのために常に学生の状況を把握しニーズの情報収集を行う。教材づくりもそれらを踏まえて実施していく。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和5(2023)年度

星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	特任講師 石井祐治
---------	--------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、健康とスポーツ教育関連の教養教育として、実技科目等の授業の担当をしています。体育の授業を通じて健康の重要性を認識させると同時に各学生が生涯学習の位置づけとして将来健全な社会生活を確立して豊かな人間性の育成を目指しています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
専門演習ゼミⅠ	経営学科	必修科目	3	3
専門演習ゼミⅡ	経営学科	必修科目	4	5
スポーツ総合	デザイン学科	必修科目	1	56
陸上競技	経営学科	選択科目	1	27

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象として捉え、幅広い視野と国際的かつ地域地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する 【経営学科】
個人の教育理念・目標	経営理論を学ぶだけでなく、経営を広い分野から考え、地域社会やスポーツビジネスから社会的活動も経営対象として考えた上で、幅広い経営感覚を持つ人材の育成を目標とする。また、今後ますます国際化していく社会で通用する人間形成を目指して、リーダーシップを発揮して地域社会に貢献して多様化するこれからの未来に向けて活躍できるよう指導していく。 【経営学科】

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>授業を通じて共生社会に適応できる人材の育成を目指して思考力・判断力・表現力を養うものとする。そのためには健康の保持増進の意図を理解させ、仲間と共に協力して、コミュニケーションを取り合いながら行動を共にし、体育の実技での困難な場面を乗り越える能力を身につける。</p> <p>専門演習Ⅰ、Ⅱでは、陸上競技の中長距離種目をテーマに各種目に必要な体力トレーニングと走る技術について定期的にミーティングを行い試合に出場した後で成果を確認して次の試合に向けてどう取り組んでいくか課題を設けて4年次には陸上競技で学んだことを卒業論文にまとめたものを提出しています。</p> <p>スポーツ総合、陸上競技の授業ではそれぞれの課題に対してグループワークで各種目のルールを理解したうえで課題に対してどう取り組んでいくかの話し合いの場を設けてそれぞれ協力し合い目標を達成するようおこなっています。互いに教え合いながら学習効果と共にコミュニケーション能力を高める授業を行います。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>授業ではグループ内での学習課題について学生たち内での話し合いを設けて主体的に授業に取り組む時間を作っています。</p> <p>また学生たちが考えたアイデアや提案を授業に活かしてやることによって学生たちが授業に興味関心をもって取り組んでいます。</p>
ICTの教育への活用	<p>学習管理システムを使い授業内容の資料を挙げて、授業以外の時間に自習復習できるよう、今後の生活時の参考になるように活用させる授業を行っています。PCなどのIT機器を活用して習熟度を確認して次のステップにつなげるよう振り返りながら授業を進めていきます。</p>
その他の創意工夫	<p>毎回の授業後に学生たちの意見を聞いて次回の授業展開の参考に考えています。</p> <p>何か質問等があれば学内ネットワーク teams で対応しています。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>楽しく授業を受けることができたという評価をもらった。</p> <p>グループワークの授業が良かったという評価をもらった。</p> <p>実技テストをいくつかやってほしいという要望があった。</p>
学生の学修成果	<p>実技を通じて学生同士でコミュニケーションを図ることができた。</p> <p>普段していない運動を実践することで目標を達成する事ができた。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>授業改善等のアンケートを参考にして、今後の授業展開や授業内容の見直しを図り、学生たちが興味を持って積極的に参加できるような授業を行いたいと考えています。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	助教 井坂 肇
---------	--------------	-------	---------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか？ 担当科目は？)

①教育の責任

私は、英語学関連の教養教育として、基礎英語の授業を担当しています。各学科の学生が、それぞれの専門科目で学習する内容を身につけるための基盤としての言語学的素養を育めるようにすることが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎英語Ⅰ・Ⅱ	経営学科	必修	1	30
基礎英語Ⅰ・Ⅱ	デザイン学科・建築学科・社会福祉学科	必修	1	30
基礎ゼミナールⅠA・B	全学科	必修	1	8
基礎ゼミナールⅡA・B	全学科	必修	2	6

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか？ 育てたい学生像など？)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	「自ら主体的に学び、他者とのかわりあいの中で自己表現・自己実現していく人材を育てる」ことを教育理念としています。学生が卒業後に、それぞれの学科で学んだ専門的知識と言語学的素養を組み合わせる新しいモノ・価値観を創造できるようになることを目指して教育を行っています。そのために、英語の基礎を学び、世界市民としての意識を向上させ、異なる文化に対する理解を深め、グローバルに活躍できるように教育していきたいです。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授 業	<p>授業のなかでは、「自分で考える」「自分で表現する」ように学生たちを導くことで、創造的判断力と論理的構成力を養ってもらうことを目指しています。</p> <p>「自分で考える」 学生が受動的学習に留まらないように、自分で考える・自分で調べる・自分で答えを模索するといった能動的活動に導くことで、英語の基礎が身につくような授業実践を心がけています。</p> <p>「自分で表現する」 英語の技能としては、自分の感情や意見を他者に伝えることが重要です。文法事項を理解できているのはもちろんのこと、会話表現でよく使われるフレーズや、場面に応じた会話のパターンを定着する授業を展開しています。</p>
アクティブ ラーニング についての 取組	授業中に、演習課題や英作文の実践などの能動的活動に取り組む時間を多く取っています。
ICT の教育 への活用	学習管理システムを通じた授業資料の配布により、学生が授業時間外も自学自習できるようにしています。また、英語の音源を PC や携帯等の IT 機器を使用し視聴できるようにして英語の知識を使いこなせるような授業を行っています。
その他の 創意工夫	毎回、演習課題、英作文などを提出してもらって理解度を測っています。授業中に取る演習時間に、質問への対応を行っています。授業時間外ではメールやチャットで質問に対応しています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善 アンケート の結果	各担当科目のいずれの項目でも 3.5 以上と一定評価を有しており、学生の自由記述からは身に付きの実感があるとコメントを受けています。
学生の 学修成果	学生の演習課題や期末テスト、英作文の出来や、授業改善アンケートのコメントから、英語が身に付いたと数点コメントが上がっており、一定の成果は得られていると自己分析します。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、各学科の学生が興味を持てる題材を把握し、英語を学ぶ際の教科書の選定や講義、課題に反省させていきます。長期目標としては、英語を楽しむための教材作りを行っていきます。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	経営学部 経営学科	職位・氏名	助教 田畑 圭悟
---------	--------------	-------	----------

1. 教育の責任（何をおこなっているのか？ 担当科目は？）

①教育の責任

基礎ゼミナールの授業を通じて主体的に物事を考え、常に指針を自らに向け、社会に必要とされる人材育成

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎ゼミナールゼミⅠA・B	全学科	必修科目	1	4
基礎ゼミナールゼミⅡA・B	全学科	必修科目	2	9

2. 教育の理念（どのような考えに基づいて行っているのか？育てたい学生像など？）

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】
個人の教育理念・目標	スポーツを通して常に主体的に学び、自ら考え創造をでき、社会に必要とされる人材育成を教育理念としています。 大学での4年間を通じて、色んな課題で自分自身に指針を向けることができ、解決する力を身に付け、様々な分野で通用する、人間形成を目指し指導していきたい。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授 業	授業を通じて技スポーツ及び、健康のための基礎トレーニングを学び、個人に必要なトレーニングを自ら実践出来るように、メンタルトレーニングを取り入れながら実践していく。また2年間で目標とするレベルに到達出来るように、自らに合った効果的なトレーニングを創意工夫をしながら考えて行く。また学生と教員双方の人間関係を構築しコミュニケーション能力を高め、併せて快適な学生生活及び基本的な生活習慣を身につける。
アクティブラーニングについての取組	学生自らトレーニング内容をグループワークで作成し、グループディスカッション等を取り入れながら、結果や効果を振り返り、学生が主体となった授業を展開している。
ICT の教育への活用	学生個人が所有しているタブレットや、スマホを使いトレーニングのヒントになる動画や資料を共有し、スムーズに授業が進むようにデジタルツールを取り入れている。
その他の創意工夫	学生との個人面談等を定期的に取り入れ、コミュニケーションを図り、学生が快適な学生生活及び基本的な生活しっかりと出来るようにサポートを心掛けている。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	実践していない
学生の学修成果	学生が主体的にトレーニングや基本的な生活習慣を学ぶ事で、学生自らコミュニケーションを図る能力が上がっている

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

学生が主体的に快適な大学生活を送れるように、状況に応じて臨機応変にサポートしていきたい。
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上